

マーケットの動き（2023年5月8日～5月12日）

先週の為替市場は前週末比、米ドルは対円で上昇（円安）しました。10日発表の4月の米国CPI（消費者物価指数）がほぼ市場予想通りとなり米国金利が低下すると、米ドルは一時134円付近まで売られました。12日に米国ミシガン大学が発表した期待インフレ率が引き続き高水準であったことから米国金利が上昇に転じ、日米金利差の拡大を意識した米ドル買い・円売りの動きが強まりました。ユーロは前週末比、対円・対米ドルともに下落しました。

投資環境見通し（2023年5月）

米ドル、ユーロともに円に対して上昇

日本の構造的な貿易赤字に加え、米国や欧州におけるコアインフレ率の高止まり懸念もあり、米ドル、ユーロともに円に対して上昇するとみえています。特に欧州は米国と比較して利上げ終了までに時間を要するとみられることから、ユーロはドルよりも相対的に強含みやすい展開を予想しています。ただし、日銀の金融政策修正が材料視される局面では円高圧力が高まることも考えられます。

	5月12日	変動幅（円）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	135.31	0.41	2.01	▲3.76	7.19
ユーロ/円	146.98	▲1.50	0.65	3.37	13.58

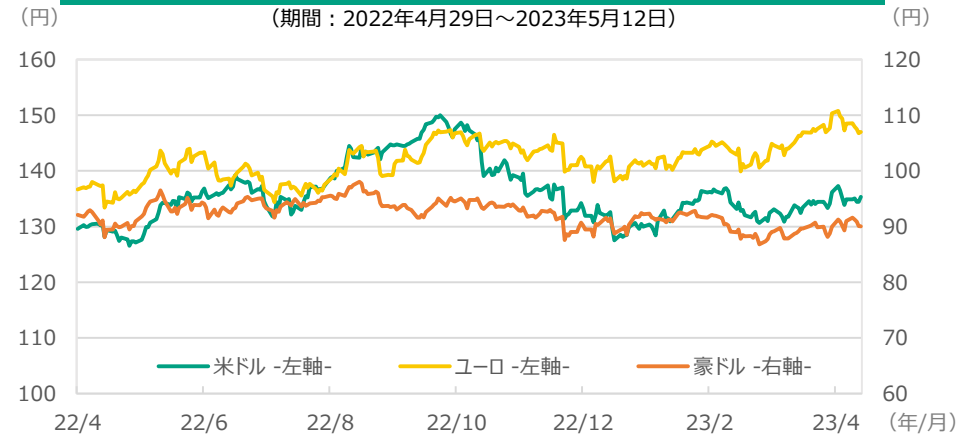
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

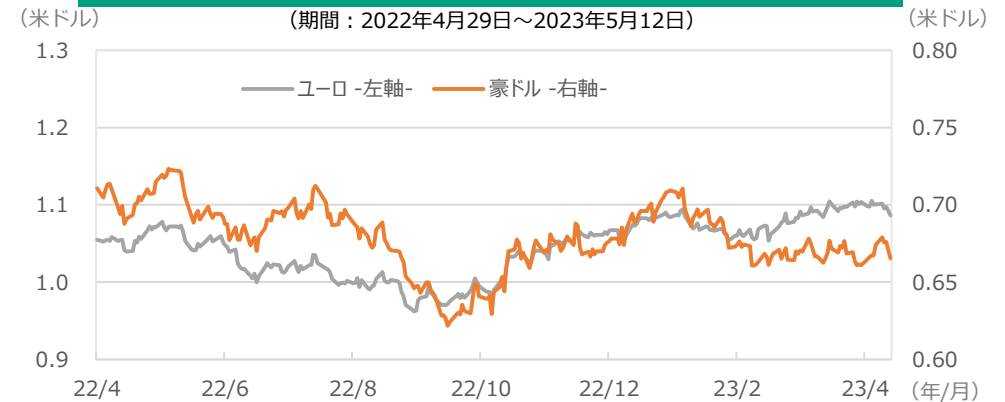
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202305_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

為替レートの推移（対日本円）



為替レートの推移（対米ドル）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成